

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

様似町長 坂 下 一 幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で照会のあったこのことについて、別添のとおり回答します。

(総務課企画財政係)

・道路整備の重点化について

国も厳しい財政状況の中、道路整備を重点化することは必要だと思うが、「重点化＝縮小」という勘違いはしないでいただきたいと思います。都市部周辺では既に必要な道路整備は終了したかもしれませんが、地方では必要な道路整備がまだ存在します。必要な道路をしっかりと整備する必要がありますし、「必要性」を考える場合、利用率だけではなく地域にどれだけ必要なかを考慮してもらいたいと考えます。

②－１地域の現状と抱える課題

北海道様似町

○現状

本町の産業は、第１次産業の農林水産業と第２次産業の工業が主となり、第３次産業の商業、サービス業などの発展を促してきました。しかし、基幹産業である水産業が、輸入水産物との競合による産地価格の低迷や資源の減少等厳しい状況にあり、それに伴い、漁業就業者の減少・高齢化も進行し、漁業生産活動や漁村活力が低下してきています。また、農業は、軽種馬を基幹に水稲と施設野菜を組み合わせた複合経営が主体となっていますが、長引く不況により農産物、競走馬の価格や流通が低迷し、大変厳しい状況にあります。商工業は、総じて規模は小さいものの、これまで地域経済の担い手として大きな役割を果たしてきましたが、他産業の盛衰が直接反映される業種だけに、第１次産業の不振が大きな足かせとなり、事業者の活力低下を招き、購買力の町外流出がこれに拍車をかけています。

このような状況の中、交流人口の増加を図りまちの活性化につなげるべく、アポイ岳山麓や親子岩を中心としてパークゴルフ場やキャンプ場などを整備するとともに、アポイの火まつりなどのイベントを開催しているものの、地勢的な問題もあり、観光客の多くは通過型となっています。

○課題

本町では、町内各産業の基盤づくりを重点的に進めてきましたが、長引く不況の影響で、各事業主の経営基盤弱体化が進行するとともに、後継者不足等の問題もあり投資意欲が減少し、長期的展望にたって実施するこれらの支援策を活用しきれない状況となっています。そのため、町内に就職先がなく、学卒者が町外に流出し、これにより後継者不足、まちの活力の低下を招く悪循環となってしまっています。

また、町自体も低迷する町内経済や過去の施設整備による負担、地方交付税の削減などの影響で非常に厳しい財政運営を強いられており、思い切った施策を打ち出せない状態となっています。

一方、本町では世界的に貴重な山であるアポイ岳や、美しい自然景観を活かしたまちづくりを進め、まちのイメージアップや交流人口拡大を図っています。これらの施策の効果は少しずつでてきてはいるものの、道央圏とは言いつつも札幌周辺から３時間以上かかる地勢等の影響から、交流人口は思うように伸びないのが現状です。

本町は地勢及び産業構造上、都市部から多くの移住者を呼び込むことは難しい状況です。もちろん、都市部並みの快適な生活や買い物環境も望むべくもない点ですが、それ以上に魅力的な自然環境に囲まれていますし、人口が少ないからこそできる「顔の見えるご近所付き合い」も生きているまちです。

様似町は、自然とともになりたってきたまちであり、それは将来像を考えた場合もぶれることはありません。今後とも、第一次産業を次代に受け継いでいけるような基盤を整備するとともに、アポイ岳や美しい自然環境を保全し、活用できる施策を推進することにより「自然とともに生きていく小さなまち」を視野に入れたまちづくりを進めていく考えです。しかし、人間同様まちも一つでは生きていけません。近隣市町村や札幌圏との交通アクセスの整備が、まち同士の連携を生み、産業の活性化にもつながっていきます。そういった意味で、国道や高規格幹線道路を含めた交通網整備や情報通信施設の整備を促進し、住民がこのまちで安心して住み、働き、年を重ねていけるようなまちにしたいと考えています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道様似町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
安全・安心に生活するために	一般国道３３６号交通安全施設設置事業（鵜苫～西町、大通３～平字）	児童・生徒等が安心して通行できるようになる。	
	黄金道路と冬島～旭間の降雨時通行止めの早期解消	地区住民が天候に左右されることなく安心して暮らせるようになる。	
	町内海岸保全施設整備・改修事業	現状では越波の影響で国道を通行していても危険な箇所や民間施設等が危険な状態となっている箇所もあるが、それが解消される。	
	町道等の橋の長寿命化対策の支援・促進	橋の長寿命化は、市町村にとっても技術的・財政的に大きな負担を伴うため、その支援を行うことにより、長寿命化を促進し、安心して通行できるようになる。	
地域の活性化のために	高規格幹線道路日高自動車道の整備促進	札幌圏との移動時間が短縮され、本町の交流人口増や産業振興が期待できる。	
効率的な行政運営のために	町道タキナイ線の道々昇格について	現状では、道路がつながっているにも関わらず、北海道と町が管理しているので道々に昇格させることにより、道路管理の効率化が図られる。	
	様似ダム線の道々昇格について	現状では、ダムの管理用道路でありながら町が管理しているので道々に昇格させることにより、道路管理の効率化が図られる。	
道路維持経費増加対策	町道維持経費の支援について	これまで整備してきた町道が、今後老朽化し維持補修費が増加してくるため、その支援を行うことにより、道路環境の悪化を防ぐことができる。	
	除雪経費の支援について	冬期の除雪費用は、市町村の大きな負担となっており、その支援を行うことにより、道路環境の悪化を防ぐことができる。	